

メルマガ配信システムを利用した効率的な情報伝達フローの確立 2022年4月～2023年3月実施予定 (いばらき中小企業グローバル推進機構)

【課題】

受発注情報を登録企業に伝達する手段としてFAXからメルマガに転換していく必要がある。しかし、メルマガに転換するに当たっては下記の課題がある。

▶現状のメルマガ配信システムでは業種や業態などに分けた配信ができない。配信するためには、システムを改良する必要がある。

【目的】

メルマガ配信システムに改良を加え、各々中小企業ごとに合致する有用な情報を的確かつスピーディーに伝達することによって、中小企業の販路拡大につながるビジネスチャンスを提供できる情報伝達フローの構築を目指す。

【本事業の内容】

現状メルマガ

- ①セグメント分けなし（毎回、無差別に送信）
- ②効果不明（毎回、送りっぱなし）
- ③テキストのみ配信（画像なし、モノクロ）

【要改善点】

- (1) 中小企業者の業種・業態は極めて多種多様であることから、当機構が配信している対象分野は広範囲に及んでいる。その結果、的を絞った配信ができず、専門性の薄い総花的な情報の羅列となってしまう。専門的な「受発注情報」を伝達するに当たっては、登録企業をセグメント分けして管理、配信できるシステムとする必要がある。
- (2) 実際にどれだけ読まれているのか、どのような記事が読まれているのか、実態をつかめておらず、データがないため改善ができない「送りっぱなしの状態」で終わってしまっている。効果測定を行えるシステムとする必要がある。
- (3) HTML方式のビジュアルなメルマガが増えている中、テキスト形式の当機構のメルマガはかなり長い行数に及ぶこともあって読みづらい存在となってきた。このため、スマホにも表示対応できるようにすることを含めて、直感的に理解しやすいメールを配信できるシステムとする必要がある。

多種多様な情報のうち、適切な情報を、適切な中小企業に、適切な時に速やかに、そして直感的に理解しやすい形で提供する。

試験的な取組 (初機能)

- ①業種・業態によるセグメント分け管理（複数セグメント対応）
- ②効果測定機能（開封率、クリック率を測定して分析）
- ③HTML方式を採用（カラー化、ビジュアル化、写真掲載）
- ④スマホ表示に対応（レスポンシブデザイン化）
- ⑤マルチパート配信（HTMLメールとテキストメールを同時送信）

- ・現在の機構システムと連携させる。
- ・登録企業データをオンプレミスで一元管理して、万全なセキュリティ対策を講じる。

以上、メルマガにおいて、試験的に施策PRの精度と訴求効果を高めることで、**中小企業の販路開拓につなげることができるか、調査・研究を行う。**

【成果目標】

- ▶直接的成果目標
 - ・開封率/クリック率の把握
現在不明→数値化
- ▶間接的成果目標
 - ・当該メルマガを通じた施策
利用率/販路開拓成功率
現在不明→数値化

中小企業者の顧客満足度向上

【波及効果】

- ▶施策の利用やイベントへの参加増が期待でき、受発注取引情報や商談会/展示会の機会を有効活用できるため、中小企業の販路開拓に寄与し、地域経済の発展・維持に貢献する。
- ▶ITを上手く利用することによる成功事例を作ることによって中小企業にDXの意識を植え付けていく仕掛けの一つになる

【将来の支援目標】

中小企業にとって有用な情報伝達フローを構築することで、県内での活発な産業活動を誘発する流れを作る。
日々得られる配信データを活かしながら改善を重ねて、情報伝達先進県を目指す。

【都道府県の施策との連携・親和性】
茨城県が推進している事業

- ・海外展開/海外販売（海外展示会）
- ・受発注取引の拡大支援（商談会）
- ・新事業創出/新製品開発の支援
- ・技術革新/生産性向上の支援
- ・情報発信事業（HP、メルマガ）
- ・知的財産の活用支援